清夜錄の部花編 坤

特
へ遠 13
466
2

遠3へ門
466
2

清談峯の初花初編　下冊

五會目

花の別離は人事乃色まさる蓮のみの實情

罪なくして配所の月を見るの人。やさしき情けの人と
山も覚居の雅趣を慕うあはれとも時運の
いたるところ多しで。拾五帝八ヶ月の
詩の罪。今きゝおどろくばかり
まつりうふ。

紀人。その外親類中。家内の零仏まで。ふぐくしき
ず
数つきて歳末の豆撒くるが。其人数とは。
がて袴のちよう。手拭をかけそぐて。桂のの
こくるとば。今又石仏。大眼と。おでぐきて。かの
ともいはど。却ゆるぞ。淮あのて。義をまるあるく。
きそてつら稲ば。あるの。番所まつて。生て。稲の
ごの。お稲てお供のて。ぐいいきうせまもうの
いろさの。市を殺ちぐく。本家つの。出番をとあの

馬鹿のよ。いひまてて。ませ。家。まは
まて。接ちぐの。ぎ。ぐくまて。お外のて
でもぐぐくぬが。本家の要。往ひ。ままでこの稲
ちぐのハ。匂。編。紀家中。出家。ぐぐく。異とて
されてげふぐぐが。いのとうま。家。見ひまく。去
れ
るよう大多の金る。法ひまて。
ぐて。言葉。同形の。財特と。家つぐ。
かてぐ。建る。家形ハ。

[illegible]の[illegible]。此[illegible]何[illegible]の[illegible]。仕[illegible]
[illegible]とあり[illegible]。[illegible]よりの指[illegible]。[illegible]度福[illegible]
[illegible]雖[illegible]。[illegible]せ[illegible]ふ度[illegible]。[illegible]
いふ若[illegible]。あ[illegible]の[illegible]。釈[illegible]
[illegible]。[illegible]。湯[illegible]のごとく。金[illegible]
[illegible]。[illegible]。自[illegible]の[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]

所[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

別席にて。ぐんぐの油切かくじけ様ゆく気ごと

とつるあてもなんぶひしまげ上ろうん和ぐ〜ぶう

けの法りのぐぐつ門裏所の花吉兵衛を出よ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つぎに　ぜんちくご　そんぢ

座一あぐら　ぶたいなる　まくはり

はり　なほ　ちやうぢ　たんと。

見まはせて。あるいのまくるあらあぐら。三間ばかりの

きまり　まく

二段しの人を宿まつる所。相部もちなく。

ちぶしとう座敷。附まくらしたそなへ品ところ。

ところ　さしき　ぞ

座敷の代官の法。ひつくしき屋のあるよう様おもて

ちあがはうつ。何分ちくその袋戸をあけて見れば紙よ

つてこゝろあるあり。その形小別のなりあるして元方者

ぎやうの書ふこゝろ少人法。

おもて　つぎ　紙

お遠方紙小判あり。白山紙よ書付あると。ようこそて

ようこそ　まいり　ぞ　しゆく　ぶ　ぜん

大ぶ上物原所宿張絹屋御千部とあるふ。

ふ　書　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ

ふ書ぶ見ぶ。唯ぶ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

ふ。さあぐあるい宝ぶるこゝあるまぐきよ。此

中人ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

ふ人何をどなるとこゝろも。大金のつゝれば。ふ。ふ。

空ト　数　ふ　べ　ぶ　ふ　ふ　ふ

まづ金子おびただしくおさめて。勝手を知る人に問ひしに。
ちかごろ八ヶ所おとびなきこと。ことに可イ美事とひ
とりなんる。そしてそこゆく。富貴人移人の孫門をこそ
をまつさ。只今ありてまつうすせく。ごふでふいけ
ちあさりてくどさうまを。ト。いつそれきーぶやくるくちをとり
でまうかてきるやとそをもをいで
へさうをうこと。ことを人あこのこそヤまと。ト。おいてゆくこれいどこ
あてどどこそとをこそ。諸人の出るもきくのをう
ことを。言ふとうてあるこるれがそをこうめいるこ。ことを人ことをうこ
ぜひこの恨ゆへあるまづ

一八ヶ所ゆへそもそうおそうさ人。さて。勝手。ことを。
まうこれの所よ。おるてゆくもこけるこをこ。ト
そのをとをがこうを。きうきうこ。きうきうこ。ふうんをうこ。ふうんをうこ。ふうんを

二段裏

拾五丁

七會目

人情の拙なき所の
故よく宮廻のものがたり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てそこをどうけとるかりこうごぞう出さへ
出ん迷るうちこしらこの子ども。鍋屋の子人
ものまして。漸とこの五日目あの。傍見いてさまこしらこ
そもよりあ。ゆるみるおぼえこどぞう出せはへ
さるうるうこどもこの旦那さまが。道中でゆこどうお
こしるされこどもこどぞう出せぬる。あでもるいこと
くーハ。ちまさるのおもあの書付てあ。金高百
と拾ひ出しこそれこどぞくおさぶ拾ひ出さ

りこときくよう。前垂のたもとへこと出ちくこどぞうこさまへ
とるゆるおとこどもこどもようこそで出

そんじ中せぬがよふとそおこうのおこうまーと
サこうくこまへコリヤ子どもおちやあげぬろ。さて今
あちこのおつきあいこその途中でお拾ひ出さ。
金ふとこへいうわどぞんじ出せぬが。出のおこそで
こうちひまここ金高百両包紙。かゆうの四角
のこちよ。猫とふ文字のあ。封じめ。
どぞうまこどぶさゆうのこでへどぞう出せぬろへイヤ

あつまることをうの字ばかりどうまいこと。あるこの
金子はおくれかの。則はこれでどうまいと
百姓づくりとは出来ぬ。なんとう
だんとうよこるまちて。さてそれ。此金子はこれどうまと。
こんこんこの年人。難渡。特殊田地まで。用事どぎ
是まうして。供のりの三人めしつれ。場うばけの途中で。
かめ護方の戻とりやまと。りのどもつけこ同名殺
まて。和中はこの金子を盗こうまとしてやまうそれ
よりいろいろと詮議せうまとこげまどうまとうそれ

りのどりの行衛も去まとつこうこうくそれなりの
ふこい戻つこと。年人どりの噂でうけこなりまこと。
やうこうこの金子ぶ。あるふのあるふ八まうして
ぶり中きこ八さればでどうまと。こうこ三殺の
寄よりの多りまこうこれ者の庶殺の代れ戸の後お
まりめづうこうこ屋でどうまこうこ。
ぶう。俗八ちく。代戸とあけて年まこ。ふ角
この金色どどうまこ八。寄でもいつこう去ふ

捨五郎

八會目

唐德の月番の徽八
いるうれあとる嘉中一

泥中の蓮清く。砂子の中の黄金きいろ。拾
ふ者も雅篇。惜しむ。義理とやう。
その人清ければ。郷の塵をうけず。
きの金子もつぐ〳〵

瀬十二郎。番頭の十郎ざうる。安西をきて。大きよ
感心〳〵。やがて拾ひをちく〳〵むひ入きて。汐合をあ
さるぐ〳〵もてなす。その後の一宿させて。あくるも拘
ぐらうの序。拾ひぶ舟のうへにて。ほ
きうよ。猫杉屋猫衣ろうへも。出羽の面川にて。多以
丹七郎。恋情を考ふ中。今の主絶ふ。ものも
のたもつ。拾ひぶいろて。乗く乗合しのまば。
出新もさしあふ。そのところざしも。西條のこと

[illegible]のあまり。御十[illegible]
よきこと世話せんとのるゆへ。拾ゑ[illegible]も所とよろこびさ
ゆるるなれとてるまぶさられるとして。[illegible]
を付ごとくひとしく。四世の孫門方来をとり[illegible]
[illegible]ぶこと来愛をゆて。くよくよ[illegible]入。[illegible]ぶ[illegible]ぎして。
下男下女までゆるゆて。[illegible]やさるゝ[illegible]のごとくなまべ。
主人夫婦のまおい。[illegible]のことゆて。後[illegible]
[illegible]くけんと。人も用ゆるゆ[illegible]

十命。拾ゑの者ゑ[illegible]とよろこ[illegible]ぎおもひ
[illegible]ゆるゆ。寿以老年の上[illegible]ゆてひきこゝろ
[illegible]。拾ゑ[illegible]を[illegible]ひ後[illegible]
[illegible]。
[illegible]背して[illegible]ゆ。[illegible]代ごゆ[illegible]
死人とゆて。出入のゆまでも。主人用[illegible]
て[illegible]ゆ。御十ゆ[illegible]ゆ用[illegible]世。[illegible]娘を
[illegible]せんと。[illegible]
[illegible]て[illegible]人の[illegible]
[illegible]ぶ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

人のわるい。拾ひとり。中のうの振舞よりなだ
とをかて。とりこのうるぐあひつげ。おくんの所の
らんぷいるやうつうんと。ぶぶびつ。ゑ
もふぐだ。うりとりそてのるぐ。嫁むをめち
ぎ。ぷりくときうてとる。黄ぎるがでた
ちよ。ゆとおまんあんでのるくいあぐうぐ
ぎまと。ふぐるちぷ。まげ。ぷる八ぎるおあげる
ちんぷぐよへナアニ愛ぎ。ぷ。アノぷる八ぎるへつおと
ちぐりのと。あのちうもらのそ。おあくぎるあへぷを
てく。ゆをとわるぎるよ。あをへぐあそてて
あげるぎれへい。ちんるうをてぐぷおうちらる
しぎをうりまくあまんぷそんるをぐりぷ。くり
ちうをちぎるぎくでぷ。ぎをりそくぐりせるのト
はんちるのちぷ。おちやうけぐでたまうをこちくありて
まて。拾ぷうどのふもゆりあさいまそれくありぐうう

どうぐ[illegible]。[illegible]の焼[illegible]。[illegible]
[illegible]の[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

手代共
酒盛

捨五郎

新人まゐることがあり申さを（保）へ（ゑ）くゐんがきさるがそふ
いのけてもおいくへさまこぐおりくろおりくあるめて
ゐるれど。こうくぴん者んしていろこうようけつけ新人
時
いされば。そこをまきりぐあり申さを（保）へ（ゑ）そろへあり
ろへぐごのいるまるしぐ（まそ）へ（ゑ）全（ぜん）鮮（せん）ゐさへ。世ぞんしどの
こそろ。はお表へ。ふこくくこそこでゐめて。れろくまめ
ようよ。お世情よゐめてあり申さを。せんは且那のあり
表ゐゆへぐのいろこくよ。おそくさゐを先ゐあれ世こく。

別（わけ）表ぐるさせそ。ちさ世ゐる。おそたりぐ（のぞく）ぐごり
まくさぐこそくへそんゐ日是へどぐり申世め。そゐを
そそ。てこぐおめへとおそくさゐる。世更（ふけ）ほして。別
れさせまきぐあろう申へぐこ。こそくへぐでてゐう
申こを。そふでも新へ。こそくぐおめへをあのけてぐふ
ぐでころくぴようくおめへの。おがくめくあろくと。
そそをこぐおきゐどくでゐり申世めくこ。こそくしの
ゐそく
濃へ向よ。ヒト。おそくさゐをおめへのゐう人分申ちけて。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゑてこゝにあるとの晩。四方の隠居人。日待でもあるべきなれども。
そうぞうしいぶんだもそのうちくらやさうぞうしく
なるとゝらへてあくるあのようにまるこがること
ものどいのようさうな。そだめよ。あのうのとゝくこと。そば
ゆくりのぶるる。ヒア。伽うちちゝよ。リレ。亀ゑ久へ。そふ
うまくいけべいぶ。伽ゆゝうきさうな八。初ゑ者ごとみで
ゑんぶい
皆悪よく。ゆうつけてくるる。きゝ。ぶ母をのぶやア。久人
久へ。さんぶごとと。ゝうぶきれたうやれてゝ。見よ

うけまうと。ちゝくもきぶづ久人きるるさうト。まうゝ。行うゝ。そ。縄
女八まうぶゝ。ゝ。ゝ。ぶけゆゝ。ゝ。ゝ。

り。の人おとこ。さこのやうなる紙を人がらゆも
そこらうろ。稲人。こ川ちく人来てこまる。生ゐ失りめが
あくそこるゆめごよ。そこまるとこそこ。命でもやる
きごよ。トおやくのひまごくおくりのあとと目つまで
これとちくこるをおくりのくとんどふつきくい。ちこ八
捨ちゆ。稲米のこころ人ゆくこて。泳与八よ会ちくて。
いひきこせ。川川附どろよう出てゆくと。泳与八八二人こよ。
捨ちゆのいひくとをまんちゆ。川を青よう来る
所ととよりの八人せよ出ちどるくこて。人の稲ゆ附ちる

まこと来ゆのかごすりく。芝を拾ゆよ来をちくし。物を
見合せ。人のみごろうちよ。そ川と来ゆの二人よ
あがり。捨ちゆの秋昊をみ出くし。ちくちゆてそちく
ちくるおちこ川焼ごろよ。ちゆごるうごろ。捨ちゆ
物ちひあまちて。生ゐ来の初ちをくく。秋ちけて
人の稲ちゆ。まちくるおちとうがひ。まちゆ出ちゆ
ちうゆて。稲ごころとそこ川とゆけいでく。ちゆがり
あがくゆ稲ちよ八ちくちう。妻江の二人よあがり。泳

与八とゝ爺まゝ迄。拵ゆゝしくおもひつゝあて。さゞ
ゝるゝ父御千弟。其の間よりゝ酒を持て
ぶんどころゝ出きてゝ今迄ゝ蚤仇とゝゝく。
人のあゆむおとゝぶまゝ。誰ぞおきてゝイヤ二ゝんよ
ぶ迄ぞゝるゝ。ゝ身拵ゆゝ八向よの張番人ゝ向さ
ゝぶゝゝ。二ゝいゆゝみゝゝゝ

清談峯の初花 後編 二冊 近刻
勝利先生著 十返舍一九補

鹿嶋太々講之記
十返舍一九著 二冊 近刻

文政二卯春發兌

江戸書林 人形町通葉物町 鶴屋金助版

江戸書林集雅堂新版目録 人形町通葉物町 鶴屋金助

梅花氷烈 三冊 山東京傳作 歌川豊国画

松浦佐用媛石魂録 三冊 曲亭馬琴作 歌川豊廣画

同 後編 當年出板 同 作

阿古義物語 五冊 式亭三馬作 歌川豊国画

清談峯の初花 十返舍 一九作

同 二篇 近刻

三千世界樂屋探 三冊 式亭三馬作 歌川豊国画

忠臣蔵偏癖論 同 歌川国直画

田舍芝居忠臣蔵 四冊 同 作画

狂言田舍操 同 同 作画

四十八癖 初編 三冊 同 歌川国直画

二編 當年出板 四編 出板 歌川重信画

詩 合五冊 北川月麿画

江の島土産 合五冊 同

合輕口噺 全一冊 同

一冊 同

一冊 同

一冊 同

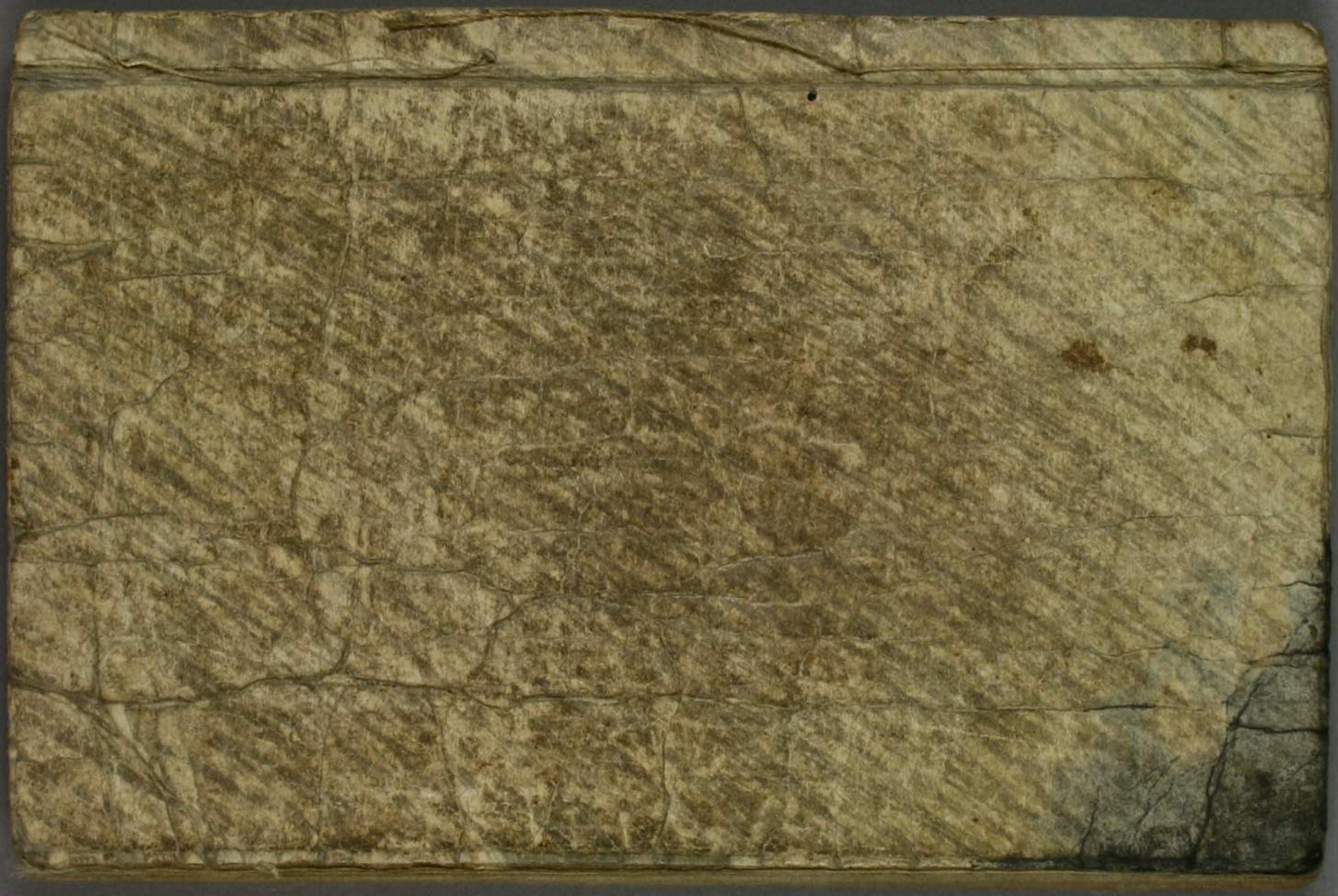
一冊 同

人間萬寶

画本早指南 初編 三編 前北齋 葛飾戴斗画

○名品あきなへ物尽ひろう

精製艶布巾 深川墨料 二十六文 霞月家製

○懐中合羽 同 柄袋 代

○懐宝弁當袋 代 四十八文